様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校
設置者名	学校法人名古屋大原学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
専門課程専門課程（商業実務関係）	ﾎﾃﾙ･ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ科 ﾎﾃﾙｺｰｽ	夜・通信	19 単位	7 単位	
	ﾎﾃﾙ･ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ科 ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙｺｰｽ	夜・通信	19 単位	7 単位	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.ohara.ac.jp/info/report/hamamatsu/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名　なし
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校
設置者名	学校法人名古屋大原学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

下記ホームページにて公表する。 https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/yakuin.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤 （学外者）	元上場企業 秘書役員	2026. 6. 13～ 2030 定時評議員会終結のとき	経営全般及び利益相反の監督機能
非常勤 （学外者）	税理士	2026. 6. 13～ 2030 定時評議員会終結のとき	経営全般及び利益相反の監督機能
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校
設置者名	学校法人名古屋大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） ●授業計画作書（シラバス）の作成過程 毎年度２回（７月、１月）行われる「教育課程編成委員会」の協議結果を参考に、翌年度のカリキュラムを修正・確定し、カリキュラムに基づき授業計画書（シラバス）を作成し公表する。 ●授業計画の作成・公表時期 ①教育課程編成委員会（７月・１月） ②翌年度のカリキュラム作成・完成（１２月） ③翌年度の授業計画（シラバス）作成・完成（３月） ④学園 HP にて公表（４月）	
授業計画書の公表方法	下記ホームページにて公表する。 https://www.ohara.ac.jp/info/report/hamamatsu/
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）
・各授業科目の学修成果に基づき評価を行い厳格かつ適正に履修認定している
（学修成果）
・授業内確認テスト
・校内模擬試験（基礎・直前）
・レポート等の提出物（提出日厳守）
・実習・課外活動への参加状況
・授業出欠状況（授業態度含む）
（評価方法）
・講義・演習は、取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を「優」、70 点以上を「良」、60 点以上を「可」、59 点以下を「不可」とする。

・実習・課外活動は、出席状況や取組姿勢、課題の提出状況に関する評価を行うとともに、実習先企業に評価していただいた学校指定の評価シートの内容に基づき次の通り評価する。総合評価 5 は「優」、総合評価 4 は「良」、総合評価 3 または 2 は「可」、総合評価 1 は「不可」とする。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）
学業成績については以下のように評価を数値化し学科ごとの指標数値に基づき成績分布状況を把握している。
・各科目の成績を「優」を「５」、中位を「良」を「４」、下位を「可」を「３」
上記のように成績を数値に換算し、その数値の平均値により指標を設定する。

1. GPA 制度

授業科目の成績評価に対して点数（Grade Point）を与え、その点数の合計を、履修登録した総科目数で割って算出した平均値のことを示す。学修への取り組みを質的に把握するための指標である。不合格の科目となった場合も算出対象となるので、計画的な履修が必要となる。

2. 成績評価と GP

成績評価	GP	点数	備考
優	5	100 点　～80 点以上	（概ね、上位 40%）
良	4	80 点未満～60 点以上	（概ね、中位 40%以内）
可	3	60 点未満～40 点以上	（概ね、下位 20%）
不可	0	40 点未満・欠席	
認定	-	―	対象外とする

3. GPA 算出方法

GPA＝（ 科目 GP ）の合計／履修登録科目の合計 ※小数点第 2 位下四捨五入

客観的な指標の 算出方法の公表方法	下記ホームページにて公表する。 https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/gpa_hamamatsu.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

教育基本法その他法令の精神に則り『①早期大人化教育：精神的・経済的な独立意識と社会やクラスの形成者意識の要請』及び『②学科の専門教育：資格試験に合格する能力と就職に必要な能力の養成』を掲げている。

修業年限在学し、学科ごとの所定の科目を履修した者が学生便覧に定める下記、卒業基準を満たした場合に課程修了の認定を行い、卒業証書を授与する。

記

■ホテル・ブライダル科

(1) 出欠席基準

①前期（４月～９月）欠席換算１０日以内

②後期（１０月～３月）欠席換算１０日以内

(2) 資格基準

①レストランサービス技能検定試験３級

②サービス接遇検定準１級

③下記のいずれか１つ以上

・ホテル実務技能認定試験上級　・色彩検定３級

(3) 履修科目基準

全ての科目において不可のないこと

注：学納金の滞納がある場合には、原則として卒業を認めない。

(4)課程修了に要する修得単位数基準

ホテル・ブライダル科 ‥‥ ６２単位以上

卒業の認定に関する方針の公表方法	学生便覧として入学時に学生、保護者等に配布するとともに、学生便覧交付希望者には申出に応じて受付にて配布している。

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校
設置者名	学校法人名古屋大原学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/zaimu.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/zaimu.pdf
財産目録	https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/zaimu.pdf
事業報告書	https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/zaimu.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/zaimu.pdf

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務専門課程	ホテル・ブライダル科ホテルコース	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	62 単位	28 単位	26 単位	8 単位	0 単位	0 単位

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
70 人※	29 人	0 人	4 人※	0 人※	4 人※

※生徒総定員数、専任教員数、兼任教員数、総教員数は、ﾎﾃﾙ・ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ科の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 本校における年間の授業計画（シラバス）は、授業科目ごとに作成しており、授業方法及び内容、到達目標、授業計画、成績評価の方法・基準等を記載している。 本資料には、シラバスに必要な記載事項が網羅されていることを示すため、シラバスの一例を添付する。なお、全授業科目のシラバスについては、本校ホームページにて公表しているため、詳細はそちらを参照されたい。
成績評価の基準・方法
（概要） ・講義・演習は、取組姿勢および定期試験の結果を総合的に評価し、80 点以上を「優」、70 点以上を「良」、60 点以上を「可」、59 点以下を「不可」とする。 ・実習・課外活動は、出席状況、取組姿勢、課題提出状況および実習先企業による学校指定評価シートの内容を総合的に評価し、総合評価 5 を「優」、4 を「良」、3 または 2 を「可」、1 を「不可」とする。

卒業・進級の認定基準
（概要） (1)出欠席基準 ①前期（4 月～9 月）欠席換算 10 日以内 ②後期（10 月～3 月）欠席換算 10 日以内 (2)資格基準 ①ﾚｽﾄﾗﾝｻｰﾋﾞｽ技能検定試験 3 級 ②サービス接遇検定準 1 級 ③下記のいずれか１つ以上 ・ホテル実務技能認定試験上級　・色彩検定 3 級 (3)履修科目基準 全ての科目において不可のないこと ・学納金滞納等がないこと (4)課程修了に要する修得単位数基準 　ホテル・ブライダル科‥‥‥ ６２単位以上
学修支援等
（概要） ・定期的な面談に加え、出席状況や試験結果、学習状況を担任が把握し必要に応じて担任又は上司が面談し、指導や助言を行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8 人 （100%）	0 人 （0.0%）	8 人 （100%）	0 人 （0.0%）
（主な就職、業界等） リゾートトラスト株式会社、株式会社ジェイアール東海ホテルズ、株式会社京王プラザホテル、株式会社ホテルオークラ東京ベイ、強羅花壇株式会社　他			
（就職指導内容） 学年主任とクラス担任により、個人ごとの適性データを元に個別カウンセリングにより実施。さらに、入社内定後からは、内定職種ごとに実務研修プログラムを設定。電話応対・ビジネスマナーは全職種共通で実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ技能検定試験・ﾚｽﾄﾗﾝｻｰﾋﾞｽ技能検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

21 人	0 人	0.0%
（中途退学の主な理由） 		
（中退防止・中退者支援のための取組） 進路変更希望者には本人と保護者、担任、部長（または校長）を交えて面談を行い、本人の進路希望を聞きとり、保護者の方針や本人の適性等について話し合う場を設けている。また経済的理由による退学希望者には学生支援機構や提携ローンを紹介するなどの支援を行っている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務 専門課程	ホテル・ブライダル科 ブライダルコース	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位	28 単位	26 単位	8 単位	0 単位	0 単位

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
70 人※	33 人	0 人	4 人※	0 人※	4 人※

※生徒総定員数、専任教員数、兼任教員数、総教員数は、ﾎﾃﾙ･ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙ科の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

本校における年間の授業計画（シラバス）は、授業科目ごとに作成しており、授業方法及び内容、到達目標、授業計画、成績評価の方法・基準等を記載している。
本資料には、シラバスに必要な記載事項が網羅されていることを示すため、シラバスの一例を添付する。なお、全授業科目のシラバスについては、本校ホームページにて公表しているため、詳細はそちらを参照されたい。

成績評価の基準・方法

（概要）

・講義・演習は、取組姿勢および定期試験の結果を総合的に評価し、80 点以上を「優」、70 点以上を「良」、60 点以上を「可」、59 点以下を「不可」とする。
・実習・課外活動は、出席状況、取組姿勢、課題提出状況および実習先企業による学校指定評価シートの内容を総合的に評価し、総合評価 5 を「優」、4 を「良」、3 または 2 を「可」、1 を「不可」とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）

(1)出欠席基準
①前期（4 月～9 月）欠席換算 10 日以内
②後期（10 月～3 月）欠席換算 10 日以内

(2)資格基準
①ﾚｽﾄﾗﾝｻｰﾋﾞｽ技能検定試験 3 級
②サービス接遇検定準 1 級
③下記のいずれか１つ以上
・ホテル実務技能認定試験上級　・色彩検定 3 級

(3)履修科目基準
全ての科目において不可のないこと

・学納金滞納等がないこと

(4)課程修了に要する修得単位数基準
ホテル・ブライダル科‥‥‥ ６２単位以上

学修支援等
（概要） ・定期的な面談に加え、出席状況や試験結果、学習状況を担任が把握し必要に応じて担任又は上司が面談し、指導や助言を行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17 人 （100%）	0 人 （0.0%）	17 人 （100%）	0 人 （0.0%）
（主な就職、業界等） 株式会社スティルアン、パルモグループ イズモ株式会社、株式会社ツツミ、As-me エステール株式会社、株式会社クロト　他			
（就職指導内容） 学年主任とクラス担任により、個人ごとの適性データを元に個別カウンセリングにより実施。さらに、入社内定後からは、内定職種ごとに実務研修プログラムを設定。電話応対・ビジネスマナーは全職種共通で実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ技能検定試験・ﾚｽﾄﾗﾝｻｰﾋﾞｽ技能検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39 人	1 人	2.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 進路変更希望者には本人と保護者、担任、部長（または校長）を交えて面談を行い、本人の進路希望を聞きとり、保護者の方針や本人の適性等について話し合う場を設けている。また経済的理由による退学希望者には学生支援機構や提携ローンを紹介するなどの支援を行っている。		

大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校			学科名：ホテル・ブライダル科		
授業科目	料飲理論	授業形態	講義	区　分	必修
年　次	1 年次	時　期	前期	担　当	左口
授業回数	30 回	単　位	2	実務家	有
授業目的 概　要	【目的】 ホテルのレストラン・宴会部門とバー・ラウンジ部門の業務について理解を深める。 【概要】 テキストを中心に学習して、ホテル実務技能認定試験前には問題演習を実施し、試験の合格および知識の定着を図る。				
到達目標	料飲部門の基本的知識を学習して、ホテル実務技能認定試験初級・上級に合格する以上の知識を習得する。				

授業内容	回	回
	01：料飲部門の概要	16：デセール
	02：食器	17：コーヒー紅茶、ミネラルウォーター
	03：リネン	18：西洋料理のテーブルマナー
	04：ワゴン	19：朝食の基礎知識
	05：スチュワード	20：日本料理
	06：メニューの起源	21：中国料理
	07：コース料理・一品料理	22：レストラン概要
	08：メニューの役割	23：レストランサービス概要、手順
	09：西洋料理の概要	24：サービス技術、ルームサービス
	10：アミューズ、オードヴル	25：レストラン運営の基本
	11：ポタージュ	26：宴会部門概要、宴会予約
	12：ポワソン	27：宴会サービス
	13：アントレ	28～29：バー・ラウンジ
	14：グラニテ、ロティ、レギューム	30：総まとめ
	15：フロマージュ	

テキスト 参考文献	ホテルテキスト料飲Ⅰレストラン・宴会編 ホテルテキスト料飲Ⅱ　バー・ラウンジ編
成績基準	講義課題の成果、総合評価により 80 点以上「優」、70 点以上「良」、60 点以上「可」、59 点以下を「不可」とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに内容を確認しておき、授業時間内までに所定の作業が終了していない場合には、次回の授業までに終了させておくこと。

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
全学科	200,000 円	750,000 円	330,000 円	維持費 220,000 円 研修・教材費 110,000 円
修学支援（任意記載事項）				
特別奨学生制度（資格経歴認定特別奨学生、兄弟姉妹等特別奨学生）により学費一部免除				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/hamamatu_itb.pdf

第三者評価の基本方針（実施方法・体制）
自己評価をベースにした学校関係者評価を行い、この評価結果をホームページで広く公表することにより、学校法人の責務として情報公開を積極的に推進し、社会に開かれた専門学校を目指すことが社会貢献への第一歩であると考える。このため、自己評価結果の公表はもとより、学校関係者評価の実施および結果の公表を行い、今後の学校運営の改善を図っていく方針である。 ・主な評価項目： 以下の 6 項目について評価を行う。 （Ⅰ 教育理念・目的および目標、Ⅱ 教育課程・教育の実施、Ⅲ 学生の受入れ・学生支援、Ⅳ 教育実施組織・教員、Ⅴ 教育環境、Ⅵ 教育活動の基盤と改善・向上への取組） ・評価委員会の構成： 定数 6 名（関係業界 2 名・卒業生 3 名・地域関係者 1 名） ・評価結果の活用方法： 校長を責任者とし、教職員による自己評価（年度末実施）をベースに評価を実施する（翌年度初）。改善が必要な箇所が指摘された場合は、教職員とともに具体的な改善案を検討し、当該年度の運営に反映する。

第三者評価の委員		
所属	任期	種別
税理士法人ソレイユパートナー 牛田策啓税理士事務所　所長	令和 7 年 11 月 1 日～ 令和 9 年 10 月 31 日 (2 年)	卒業生
遠州鉄道株式会社　旅行営業部 団体旅行センター	令和 8 年 9 月 1 日～ 令和 10 年 8 月 31 日 (2 年)	卒業生
医療法人社団　至空会	令和 8 年 4 月 1 日～ 令和 10 年 3 月 31 日 (2 年)	卒業生
社会福祉法人 聖隷福祉事業団 法人本部 人事企画部次長	令和 8 年 10 月 1 日～ 令和 10 年 9 月 30 日 (2 年)	関係業界
浜松商工会議所 人材支援課　課長	令和 8 年 4 月 1 日～ 令和 10 年 3 月 31 日 (2 年)	関係業界
株式会社ワンプラネット・アブロード アズ留学センター　代表取締役	令和 8 年 4 月 1 日～ 令和 9 年 3 月 31 日 (1 年)	地域関係者

第三者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/assessment_h_itb.pdf
第三者による学校評価（任意記載事項）

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/assessment_info_h_itb.pdf